

降りられず 上がれず 一階愛

主人の骨折。二階の寝室は使えなくなった。ちよつと離れが空いていてそこを寝室としてリフォームすることに。断熱を「天井・壁」に施し、基本暖かい寝室への仕様を整えた。壁断熱はこだわりで、ネオマフォームを施工。

段差をなくし、畳をフローアールに。エアコン設置でも安全暖か寝室になりました。



床にもしっかり断熱材が入り、バリアフリーのフローリングに

10年の迷いが 「孫」で秒で消え

ここ10年来水廻りリフォームを勧めていたA様から突然電話があり、至急リビング改修と風呂の入れ替えをお願いしたいとの事。

なかなかリフォームに踏み切れないでいたA様が、なぜ急に？

お伺いして得心いたしました。かわいい孫の為でした。

床を畳からフローアールに、サッシを断熱仕様に入れ替えて風呂もユニットバスへ。

懐も 顔も ゆるみつぱなしのAさんでした。



サッシも断熱仕様に入れ替え、壁も張り替えて孫を迎える準備は整いました。



広々快適ユニットバスへ

「ポタン」で... 腰に優しい あま〜い誘惑

シャッターの閉鎖音が年々増す辛くなる作業はありませぬ。手で上げて下げる時にはガツシャーンでは、シャッターもだんだん渋くなり当人も次第にパワーダウンとなれば開ける気力も失せるというもの。

そこで登場「電動シャッター」ポタン一つで開閉ができる「ご主人様お入りくださいませ」の気分待つのもこれ優越感だけあります。

この機能・便利は享受した方がよいと思います。もったいないで済ますはもったいない！電動シャッター 超お勧めです。



電動シャッターの静音快適性にオドロキ!

名家も 老いも 支えて春は来る

3方を塀で囲われているF様邸。北側のおりに面した塀が道路際に大きく傾き心配でFさんは眠れぬ日々を過ごしていました。

そこで相談したのが息子さん。彼は簡易修理と称して塀の脇の木にロープで縛りつけた。

ますます眠れなくなったFさん 当社に助けを求めてきた。

いすれ空き家になる お金は掛けたくないという事で支柱を5カ所建て、しっかり補修することになった。



傾きもこれでなんとか一安心

LSリフォームの壁

高齢社会のいま、「家をどう整えるか」は高齢者自身よりも、むしろ家族の音が大きく影響します。

「今さらお金をかけなくても」「跡継ぎがないのに」「転売するかもしれないから最低限で」

そんな「善意の反対」が暮らしの質を下げてしまう場面が増えていきます。

しかし本来、住まいは「残すため」ではなく「これからの自分が安全に、あたたかく生きるため」の器。

家族の反対や迷いというLSリフォームの壁を国実で一つずつ片付けていきますか。

国実が求める 「LSリフォーム」の究極とは

リフォームで注目されがちなのは新しい設備ですが、本当に見るべきは「暮らし始めてからの生活」です。快適な暮らしを左右するのは「間取り」と「生活動線」。

洗濯のたびに二階へ上がる、寝室とトイレが遠い——そんな動線の悪さは、年齢を重ねるほど不便さや転倒リスクに直結します。

日常の移動距離をなるべく短くする間取りへの見直しこそ、暮らしの快適さと安全性を高めるLSリフォームの究極の姿です。

(LS＝長寿社会)

金かけて 温もりだけ 来なかった

20年前実家に帰る際に大金をかけて、断熱リフォームを行ったSさん。ところが最近寒さがやけに身に染みる。

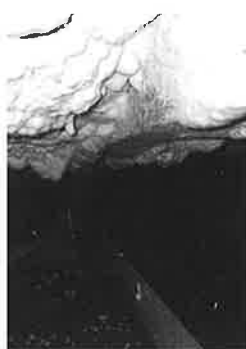
1日中温水暖房をつけている。ここでもう一度断熱工事を行い、寒さ対策を強化しようとしてリフォーム相談会に来られた。

当社で調査を行いビックリ。床下・天井・断熱材の端切れもなく、家は見事なまでに裸のままでした。見積にはしっかりと項目も金額も計上されていたのに。

結局知り合いという事で泣き寝入りとなりました。

当社提案は、天井グラスウール24kg。床下は気密重視のウレタン吹付。

ついでにユニットバスも交換して、今後は暖かい家でお過ごしいただけますよ。



床下にはウレタンをたっぷり吹き付けました



天井にはこれだけの断熱材を敷き詰めました



施工前の寒々しい床下

「プチ土木」 土管の詰まり 春の雪解け 池となる

山際に掘られた水路は、山からの湧き水を逃がすために設置されたもので、庭の部分は土管を伏せ排出している。

Aさんが物心ついた時にはすでにあった。

御年70歳のAさんのお年を考えるとかなり古い、そんな水路の異変がある日気づいた。

池ができています！土管の先端を除去とわずかし、か排水されていない。詰まった...??

当社レスキュー出動です。土管の代わりに200mmの樹脂管を伏せ工事は一日で終了。春告げるせせらぎが復活しました。



新たな樹脂管を施行中



池は消え元通りの姿に